

令和5年度 第1回昭和町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和6年3月25日(月)
開会 午後 3時 閉会 午後 4時22分
- 2 会 場 昭和町中央公民館第2会議室
- 3 出席者 町 長 塩澤 浩
副町長 秋山 隆
教育長 太田 充
教育委員 井口 加保理
教育委員 鮎川 哲
教育委員 望月 昭三
教育委員 小宮山 稔
- (事務局関係)
- 総務課長 伊藤 直樹
教育委員会学校教育課長 小宮山 和俊
教育委員会生涯学習課長 神澤 卓見
総務課総務係長 河西 昌子
教育委員会学校教育課教育指導監 富士池 慎一
教育委員会学校教育課学校教育係長 細田 忠司
教育委員会生涯学習課係長 深川 慶太
- 4 協議事項 (1) 昭和町教育大綱について
(2) にじいろ教室について
(3) 中学校部活動地域移行について
(4) 杉浦醫院の今後について
(5) その他

別紙（議事詳細）

- 1 開 会（伊藤総務課長） 資料確認
- 2 町長あいさつ（塩澤町長）
※あいさつ内容は省略
- 3 前会議事録確認
河西総務係長より、令和4年度第1回総合教育会議議事録の確認について説明を行った。
- 4 議 事

（1）昭和町教育大綱について

昭和町教育大綱について、資料に基づき、学校教育課 富士池指導監が説明を行った。

こちらの説明について質問意見は

特になし

（2）にじいろ教室について

にじいろ教室について、資料に基づき、学校教育課 小宮山課長が説明を行った。

こちらの説明について質問意見は

小宮山委員

にじいろ教室を西条にもってくるのは良いと思う。図面を見ているが、畳の部屋が多いと思う。改修してフローリングにする予定はあるのか。

小宮山学校教育課長

畳の部屋が多く、使いづらい部分があることから、フローリング工事を令和6年度考えている。エアコンがない部屋に関してはエアコン工事を行い、環境を整えていく。

小宮山委員

今、昭和のこどもたちは何人くらい登録しているのか。

小宮山学校教育課長

プライバシー保護の問題があるので、何人かは言えませんが、全体では、昭和町・中央市あわせて二十数名。ご理解をお願いしたい。

鮎川委員

計画中とのことだが、図面に便所と書かれている所が 2 か所ある、これは改修されるのか。

小宮山学校教育課長

すでに洋式に改修されている。

小宮山委員

資料の設置環境の中に、近くに民家がないことと書かれているが、そうはいつでも、周りのこどもたちに接するという機会があると思う。教室通うこどもたちに対して、現在、教室は外から丸見えになっている状況だが、目隠し的なものはするのか。

小宮山学校教育課長

その辺りに関しては、配慮していきたいと思っている。また、通学の時間帯は避けてということ考えている。どうしても朝は苦手というこどももいますので、普通の登校時間より遅い時間帯から始めるような形で予定している。

井口委員

基本は徒歩ではなく、送迎か。

小宮山学校教育課長

場合によってという事になる。自分で登校できるこどもは、親御さんとの相談になる。

井口委員

この図面だと、駐車場の確保は出来ているのか。

小宮山学校教育課長

大量な台数は厳しいが、数台であれば駐車スペースはある。常時駐車しておくのではなく、送迎で来て一時的に駐車するのであれば問題ない。

井口委員

浴室が2つあるが、改修する予定があるのか。

小宮山学校教育課長

もともと居住用という事で作られている。使って行ってということになるが、例えば、トイレがうまく出来ないこどもがいるのであれば、そのこどもたちのために使えるのではと思っている。今までは、浴室のようなものはなかったが、状況に応じて改修していく。

井口委員

あったほうがいいと思う。トイレの横に浴室があるのはとても便利だと思う。

小宮山委員

台所があるようだが、現在ののにじいろ教室ではこどもたちが料理をすることがあるのか。

小宮山学校教育課長

基本的にはない。

井口委員

調理実習などすれば、こどもの中には特性があって、料理に目覚めて将来的な繋がりということも考えられるので、台所があるというのは、とてもいい場所だなと思う。

小宮山学校教育課長

今まで、そういったものは無かった。生活習慣などの部分で料理を学んでいくということであれば、いいのではと思っている。

中庭があり、ちょっとした菜園、土いじりのようなことも出来る。

望月委員

使い方によってはいろいろ可能性が広がる。

井口委員

他の市町村も参考にしながら、どうせ作るのであればなるべく有効的に作られ、よい居場所になってほしい。それぞれのこどもが将来的に社会復帰できるように、それが目標だと思う。こどもの特性が発揮できるような場所であってほしい。

伊藤総務課長

事務局から説明があったとおり、令和7年度を目途に改修していく。
また、進捗状況などは報告していく。

(3) 中学校部活動地域移行について

中学校部活動地域移行について、資料に基づき、生涯学習課 深川係長が説明を行った。

こちらの説明について質問意見は

小宮山委員

周りに聞いても、部活動の外部委託は現状進んでいないと聞いている。
まだスタートしたばかりで具体的なことはわかりませんが、令和8年度から部活に対して学校の先生の指導はどのようになっているのか。

深川生涯学習課係長

学校の先生が部活動の指導をしない。しないというのは変な言い方ですが、地域クラブ活動という形で、指導は基本的には学校の先生はしない。

ただ、指導者不足という事もあるので、兼職兼業で学校の先生をしながら地域のクラブ活動を見るというものは制度としてあるので、そういうものを使いながら関わることは出来る。

今回押原中学校の先生方にインタビューさせてもらった。兼職兼業したいという先生は全体の2割だった。手上げをしてもらい、申請してもらってという形になる。そうすると絶対的に指導者が足りないのではと思う。地域の指導者が必要だと思う。

小宮山委員

地域の指導者が増えるといいが。カメラリアは結構いいと思う。

教育長、部活動は教育の一環なのか。

太田教育長

部活動は教育課程には入っていない。

小宮山委員

スタートしたばかりですので、よろしくお願いします。

鮎川委員

冒頭で野球部の部員が減ってチームが作れないと言っていたが、スポ少では人がいたと思うが、中学校に入ってやらなくなってしまうのか。

深川生涯学習課係長

分析しますと、野球自体はやっている。ただ、こどもたちの選択肢が広がっていて、シニア（硬式）のほうに流れているようだ。

鮎川委員

スポ少（野球）では、女子が入っているようだが、中学校では入れないという事はあるのか。

深川生涯学習課係長

入れないということはない。

望月委員

70名と部員の多い部活動は。

深川生涯学習課係長

陸上部・自然科学部・吹奏楽部。

井口委員

例えば、外部指導者で良い指導者が来たら、部員が増えるかもしれないと思う。外部指導者で部活動の在り方が変わってくるのではと思うので、うまくマッチングできるような形でもっていけたらいいのではと思う。

深川生涯学習課係長

全体的な指導者数が不足の中で、技術にたけていて、人格者であってというと、なかなか難しい。

現場に入って思ったことは、必ずしも強くなりたいと思っているこどもだけではない。居場所づくり、そこはまさに生涯スポーツの領域だと思っている。そのスポーツは好きだけど、がしがし来られると楽しくなくなっちゃうというのも実際聞き取りした中で分かった。指導者も色々な人がいていいと思った。一人の人に任せてしまうと受け手が負担になってしまふところがある。指導者をグルーピングして、指導方法を共有しながらいろんな人が関わる。1人だけをお願いしてしまうと、休めなくなってしまう。いろんなタイプの人が出ていいのではと思う。

地域の方で指導も出来てという方がいれば一番良い。

井口委員

大学でも第2部活動(同好会)みたいなものがあったので、うまくもってってもらい、生徒が少しでも中学生生活楽しめるようなものであってほしい。

深川生涯学習課係長

単種目だけじゃなくてもよいと思う。運動部やりながら文化部もでもよいと思う。

井口委員

うまくまとめていただければ、押原中学校の部活動も形が変わってくるのでは。

深川生涯学習課係長

今は昔の考え方と違う。いろんな選択肢があって、いろんな考え方があって、昔の型にはめるのではなく、今の型でうまくはまるというのがいいかなと思っている。色々変えるチャンスなのではと思っている。

望月委員

変わるチャンス。面白くなりそう。

深川生涯学習課係長

なかなか閉塞的なことが多いが、未来志向で出来る話だと思っている。地域の方も学校のこと考えてくれると、地域の活性化にもなるという気もする。うまく繋ぎ合わせていけば盛り上がるのではと思う。

小宮山委員

お願いですが、指導者を選ぶ時に、こどもたちに対する指導の仕方、ハラスメントの関係とかありますので、指導者はきちんと選んでほしい。

深川生涯学習課係長

コンプライアンス規程を作成し、指導者は研修を受けてもらう。ハラスメント研修もを受けてもらう。それぞれ特有の考え方があるので、理解していただき、すり合わせをしながら、しっかりコンプライアンス研修をしていきたい。

井口委員

今、県教委が体罰など匿名でいろいろなアンケートを出していると思う。対象は教員だけになってしまうので、外部コーチの対策はあるのか。

深川生涯学習課係長

外部指導者の管理をするのは、カメラリアを考えている。何かあればそこで吸い上げをして対応していく。こちらも任せきりにせず、様子を見ていく。

小宮山委員

色々やっているとお金がかかりそうだ。

深川生涯学習課係長

地域に支えてもらいながらなるべく費用がかからないようにやっていきたい。

来年度も補助金の申請をしていく。文化部の補助金制度も始まり、山梨県では昭和町だけが手上げをしているが、使える制度は活用していきたい。

塩澤町長

財源がないから出来ないということではなく、使える制度をしっかりと使って地域移行を考えていきたい。

(4) 杉浦醫院の今後について

杉浦醫院の今後について、資料に基づき、生涯学習課 神澤課長が説明を行った。

伊藤総務課長

神澤課長の説明にもありました。また、昨年度の議事録にも記載されていますが、良い雰囲気や風情を残しながら集会場として町民が活用していく場として検討していくということで、文化財審議会でもまとまったということを聞いています。

神澤生涯学習課長

文化財審議会でも、その方向でまとまっています。

こちらの説明について質問意見は

小宮山委員

去年もそうですが、教育委員会でもこの話については何度か話し合いをしましたので、今の外観を残しながら、風情を残しながら改修してほしい。

最終的に、調査を委託するとのことですが、結果が出てからということか。

神澤生涯学習課長

調査をして使えるものがあれば使っていきたいと思っている

小宮山委員

使えなかったらどうしようもない。

神澤生涯学習課長

屋根の瓦は完全に使えない。中の柱、襖は使えれば使っていきたい。

小宮山委員

これは町の文化財ですか。国指定か県指定か。

神澤生涯学習課長

登録文化財です。国の登録有形文化財です

小宮山委員

国は9割補助か。

神澤生涯学習課長

補助はなく単費です。

鮎川委員

資料を見ると、方向性は決まっているようだ。屋根だけでも改修していけたらよいのでは。

神澤生涯学習課長

今回、屋根はビニールシートではなく、部分的な改修も考えたのですが、改修となるとすべて取り替えることになると言われた。今は見た目が悪いですが、応急処置という事になります。

小宮山委員

瓦を全部はずすとすると文化財からはずれてしまうのか。

神澤生涯学習課長

形状です。形状が5分の4変わってしまうと文化財にならない。

小宮山委員

5分の4変わるという事は、そっくり変わってしまう。屋根の葺き替えだけでも結構難しいか。

神澤生涯学習課長

母屋の後ろに屋敷蔵がある。トイレもある。でこぼこしている形状なので、なかなか難しい。

太田教育長

表は綺麗ですが、裏がでこぼこしている

小宮山委員

今後6年度で調査して、7年度・8年度とかで改修していくのか。

神澤生涯学習課長

そうです。

小宮山委員

長いことブルーシートとなっている。

神澤生涯学習課長

そうです。今は灰色のかなり強力なシートとなっている。劣化はする。

井口委員

かなり全面的シートだった。

小宮山委員

地域は。

鮎川委員

雨漏りするよりはよい。

伊藤総務課長

方向性が定まりつつある。令和6年度に調査がある。また協力願いたい。

(5) その他

伊藤総務課長

何かありますか。

<特になし>

伊藤総務課長

本日様々のご意見をいただきましたが、本日の会議でいただいた意見はこれからの教育行政の中で生かすことができますよう努力したいと思います。

それでは、以上で昭和町総合教育会議を終了したいと思います。

会議終了 午後4時22分